

(別紙様式2)

令和5年度 東大和市学童クラブ待機児童対策計画

令和4年5月1日時点の学童クラブ待機児童数

37人

1 学童クラブの待機児童が発生している原因

東大和市では、年少人口が減少する中、共働き世帯の増加による学童クラブへの需要の増大と、学童クラブの設置数不足が待機児童発生的主要原因となっていると考えられます。

2 学童クラブの待機児童を解消するための対策

(1) 方針

「新たな学童クラブの開設と既存の拡張」と「地域協働の強化」です。

(2) 具体策

公立学校の利用時間外を活用した学校内学童保育所の拡大や地元企業との協働により新たな学童クラブスペースを創出します。
また、放課後子ども教室との一体的実施により地域ボランティア等と連携し子どもたちの安全な居場所を増やします。

3 「学童クラブの待機児童を解消するための対策」を講じることによる効果

待機児童の解消と共に、地域全体で子育てを支える環境が整うと期待されます。

4 これまでの推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
小学生児童数	4,488	4,462	4,503	4,431	4,363
増減	—	▲ 26	41	▲ 72	▲ 68
登録児童数	753	724	691	732	731
増減	—	▲ 29	▲ 33	41	▲ 1
待機児童数	241	104	11	23	13
増減	—	▲ 137	▲ 93	12	▲ 10

5 今後の見込

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
小学生児童数	4,328	4,261	4,240	
増減	▲ 35	▲ 67	▲ 21	
登録児童数	759	758	788	
増減	28	▲ 1	30	
確保策の手法 (当該年度に新規で実施する手法)		・第二小学校内に学童クラブの開設		
待機児童数	37	39	0	
増減	24	2	▲ 39	▲ 13